

みんなで賃上げ。ステージを変えよう!

2024 春季生活闘争ニュース

2024年2月14日 第1号 発行元：連合北海道組織労働局

未来づくりは「協創」、まさに正念場

－2024春季生活闘争がスタート－

連合北海道は、昨年10月末に開催した第36回定期大会で2024春季生活闘争の基本構想を提起し、同年12月の第87回地方委員会において闘争方針を確認し、連合北海道の須間会長を本部長とする闘争本部を立ち上げた。1月31日には、第1回闘争委員会を開催し、2月末までの要求書の提出や回答引き出しに向けた交渉体制の確立など、今次春闘の進め方をはじめとした「当面の取り組み（その1）」が確認された。

連合本部は、2月1日に経団連（十倉雅和会長）との懇談会を開催し、「春季労使交渉をめぐる諸問題について」意見交換を行い、2024春季生活闘争が本格的にスタートした。このなかで芳野会長は「2023春闘は30年ぶりの高水準での賃上げが実現したものの、実質賃金はマイナスで推移している」とし、経団連に対し「中小・小規模事業者まで波及させるには、価格転嫁、価格交渉、環境整備が要であり、各企業がこの意識で取り組むよう発信をお願いしたい」と述べた。

十倉会長は「今年は昨年以上の熱量と決意をもって、物価上昇に負けない賃金引上げをめざすことが、経団連・企業の社会的責務」と述べ、「問題認識や今年の春闘交渉における賃金引上げの重要性は、連合とは共有できている。未来を協力して創り上げる労使関係に向けて取り組む」と懇談会を締めくくった。

また、各産別中央本部においても取り組み方針を策定し、情報共有・公開を行っているほか、連合北海道2024春季生活闘争本部では、2月に産業別部門連絡会を開催し、各産別の要求内容や交渉日程の確認などを行う予定である。さらには、北海道の経営者団体との意見交換会を3月4日に開催するとともに、北海道労働局（2月28日）、北海道（2月20日）にも賃金と労働条件改善に向けた要請を行い、3月5日には、全道総決起集会を共済ホールで開催する予定である。

2024春季生活闘争は、賃金も物価も経済も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場である。産別・地協・地区連合が一体となって、経済・社会の原動力となる「人への投資」を積極的に求め、未来に向けた労働条件の改善に取り組もう。

連合北海道2024春季生活闘争勝利！！

3.5 全道総決起集会

●日 時：2024年3月5日（火）18時～19時

●場 所：共済ホール（札幌市中央区北4条西1丁目）